

1月17日：幅広い銘柄に売りが広がり、VN指数は大幅安

週明けのベトナム市場は幅広い銘柄に売りが広がり、全面安となった。

ホーチミン市場のVN指数は2.89%安（43.18ポイント）の1,452.84ポイントで取引を終えた。下げ幅は昨年8月20日以来の大きな下げとなった。

午後の取引では売りが一段と強まり、下げ幅を広げた。同指数は午前中に3.44ポイント下落していた。

騰落別では446銘柄が下落、49銘柄が上昇した。

ホーチミン、ハノイ両市場の出来高は前日と比べ大きく増加し、売買代金は34兆5,900億ドン（15億2,000万米ドル）となった。そのうち、ホーチミン市場の売買代金は前日比39%増の約29兆2,000億ドンに上った。

幅広いセクターに売りが広がり、大型株の多くは7%のストップ安をつけた。

VN30指数は2.95%（44.96ポイント）安の1,478.61ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、29銘柄が下落、1銘柄のみ上昇した。

ビンホームズ（VHM）は3.77%安と弱い値動きで、指数の下げを主導した。ベトナムゴム工業グループ（GVR）-6.86%、VPバンク（VPB）-5.16%、ビンググループ（VIC）-1.92%、ホアファットグループ（HPG）、-3.35%はそれに続いた。その中でもベトナムゴム工業グループはストップ安をつけた。

他の大型株ではビンコムリテール（VRE）、ベカメックス IDC（BCM）、DIC不動産（DIG）、SSI証券（SSI）がストップ安をつけた。

ベトコムバンク（VCB）は3.36%高とこの日、底堅い上昇を見せた。

ハノイ市場のHNX指数は4.61%（21.52ポイント）安の445.34ポイントで取引を終えた。

売買高は1億3,710万株、売買代金は4兆ドンを超えた。

一方、外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で合わせて 1 億 5,963 万ドルを買い越した。そのうちホーチミン市場で 2,011 億 6,000 万ドルを買い越し、ハノイ市場では 415 億 3,000 万ドルを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。